



第4回 市民懇談会を 開催しました！

第4回目となる今回は「環境、防災について考える」をテーマに、20名の市民の皆さんと6名の市役所若手職員で話し合いました。

最初に環境、防災、防犯、交通安全、消費生活、消防について情報提供をした後（p14にSDGs(持続可能な開発目標)について参考資料掲載)、市の施策について旗揚げアンケートでお答えいただきました（p2）。その後、『将来の越谷市が…だったらいいネ！』の思いをカードに書き、グループ内で自己紹介していただきました（p3～5）。そしてこの分野に関連した越谷の問題点を洗い出し、それを解決するような『5つの夢プロジェクト』をまとめていただきました。最後に全体の場でグループのプロジェクトを発表していただき（p6～11）、感想カードを書き（p12～14）、第4回目のワークショップを終了しました。

分野別の市民懇談会も3回目となりました。複数回参加している方が各グループにいらしたので、初めて参加する方もスムーズに話し合いを進めることができました。毎回メンバーは替わるとは言え、次第に顔見知りが増えるとともに、それぞれの考えが深まっていく時間の流れを皆さん、感じられたのではないのでしょうか。後半に向けて、市民懇談会を通して生まれつつある参加者のつながりが育っていくのが楽しみになってきました。

[市民懇談会 開催スケジュール]

- 1 7月13日(土) 13:30～16:00
「10年後に実現したい越谷の夢を考える」
- 2 8月4日(日) 13:30～16:00
「福祉、健康、子育てについて考える」
- 3 8月17日(土) 13:30～16:00
「都市計画、住宅環境、交通、公園について考える」
- 4 8月31日(土) 13:30～16:00
「環境、防災について考える」
- 5 9月14日(土) 13:30～16:00
「産業振興、観光について考える」
- 6 9月28日(土) 13:30～16:00
「教育、生涯学習について考える」
- 7 10月12日(土) 13:30～16:00
「参加と協働による取組みに
ついて考える」

<第4回プログラム>

- ステップ1：はじめに
- ステップ2：[旗揚げアンケート]
- ステップ3：自己紹介
『…だったらいいネ！』
- ステップ4：10年後の越谷
『5つの夢プロジェクト』
- ステップ5：プロジェクトの発表
- ステップ6：まとめ

6グループから27個の
プロジェクトが発表されました



『旗揚げアンケート』

越谷市の『環境、防災、防犯、交通安全、消費生活、消防』分野の施策全般について旗揚げアンケートでお聞きしました。

【設問】 あなたは、越谷市の『環境、防災、防犯、交通安全、消費生活、消防』分野の施策について満足していますか？一つを選んで番号札を上げて下さい。

① 概ね満足している。市はよくやっていると思う。	2
② 越谷市の「環境、防災、防犯、交通安全、消費生活、消防」分野の施策は、他市と比較しても誇れる点がある。	4
③ いくつかの点で気になることがある。市民の声をよく聞いて欲しい。	24
④ 具体的な内容についてよく知らない。	2
⑤ その他	3

1

を選んで

参加者-1：将来、10年後を考えて、もっと若い人が我々の力で活躍できるようにしていければと思う。私は25年住んでいるが、越谷は予想以上に発展して人が来すぎたと思っている。他市と比べて川も多く、こんなに広い土地の隅々まで整備することは出来ない。何でもかんでも「市役所に」というのはもう止めよう。これからは我々が、「これは俺がやるよ」という会にしていければと思う。

2

を選んで

参加者-2：越谷市は中核市になったと同時に、消防本部に高度救助隊を誕生させた。災害が複雑多様化する中で日々訓練し、また他の市町村との合同訓練もここ2～3年で増えている。訓練の充実ぶりから誇れる点があると思う。

3

を選んで

参加者-3：災害時、真っ先に避難をするのは学校の体育館だと思うが、市内45校の小中学校で冷暖房完備のところはない。もし真夏に被災した場合、体育館は蒸し風呂状態となり不衛生だと思う。第4次総合振興計画の中に避難所に関する記述がなかったので、早急に対策を打って欲しい。

5

を選んで

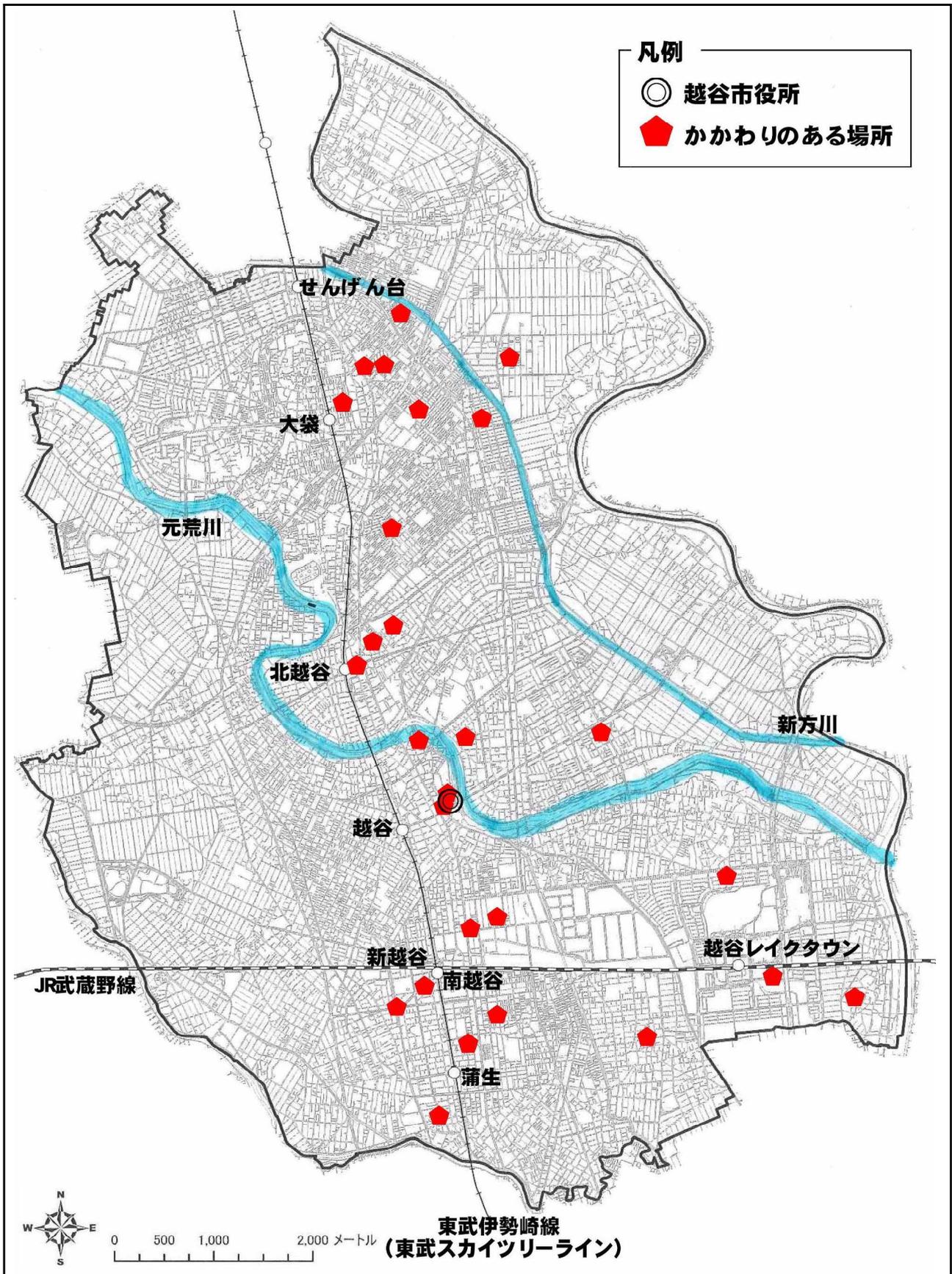
参加者-4：大相模地区、調整区域の端の東町に住んでいるが①～④に当てはまらない。理由は、災害分野に関して、整備が非常に遅れていること。今、中川のスーパー堤防をつくっているが、全然進まず途切れ途切れになっている。東町は地盤がかなり低いので、大雨で中川が氾濫したら一気に水が流れ込んでくるのではないかと危惧している。またレイクタウンの治水対策として大相模調節池がつけられたが、計画が縮小されたため、治水対策が万全ではなく、その対策も講じられていない。住んでいて不安で仕方がない。

参加者-5：③と⑤の二つを挙げた。この選択肢は行政に対して親切な基準で①～⑤の選択肢が出されているような気がする。説明を聞いたが、目標に対してどういう基準で達成、前進したと考えているのか、その基準が違うような気がする。地球と世界情勢を見て、今、こんなレベルで良いのだろうかと思う。大切なところにしっかり予算を付け、かつ、担当職員を応援できるようなシステムで行政が進んで欲しいと思う。

参加者-6：来たばかりでよく分からないので⑤を選んだ。

自己紹介『…だったらいいネ!』

地図に自分にかかわりのある場所（お住まい等）をシールで貼った後、『環境、防災、防犯、交通安全、消費生活、消防』分野について、『将来の越谷市が…だったらいいネ!』を書いて、グループで自己紹介していただきました。



災害に
強いまち

- いつ災害が起きても安心して避難できる施設が充実しているといい→体育館の冷暖房完備。自主防災組織が13地区でしっかりと整い、公助に頼らなくても自然に自助、共助が主体的に行われるキズナの深い街である。向こう三軒両隣のキズナが深い街。
- 治水対策、洪水対策（中川、大相模調節池）。避難所、学校、体育館がない。道ガタガタひどい。調整区域の課題→結果的に資材置き場などが増える。自主防犯組織、消防団に地域格差。若手がない。
- 人にやさしい町。災害時に生活しやすい環境づくり。
- 危険な市役所本庁舎も震災では無事だったので良かった。100点というのにはありえなくて、優先度を付けた上、絶えず予算を付けていくべきと思う。川が多いので、水害対策は継続して欲しい。災害では無名な市であって欲しい。災害対策では有名な市であって欲しい。
- 災害時の非常食、水等の備蓄3日配布をできる体制（市民、企業（イオン）、行政の連携で）。橋梁の耐震化率は緊急輸送道路について100%の整備（に向けた年次計画の公表）。被災時の安否表示旗（黄：OK、赤：NG）の普及（集合住宅を中心に）。防災訓練での運用訓練。
- 越谷市川柳町在住。近年、大規模な災害や複雑化する災害が多く発生しています。将来の越谷市が、災害が発生しても強く、また市民のみなさんが協力して、すみやかに復旧できるような、地元愛のある越谷市になればいいと思います。
- 地震、水害時の避難場所が公園だったり小学校の体育館というのは、想定外の災害には対応が難しいので、自治会同土がつながって高いビル、マンション、会社との連携が大切に思います。住民同士のつながりと助けあいの日常的な訓練や話し合い、オシャレリが大切だと思います。子どもの安全、高齢者の見守りも含む。

人とのきずな
が強いまち

- 30万人の市民が、一人一人市に対して「私はこんな事をしています」という生き生きとした市民の町にしたい。若者が活躍できる町。若者たちが（30～45才）自治会、市民団体の長になるような町。老人、お年寄りも若者のサポートにまわる町。
- 子どもと高齢者にやさしい環境づくり。健康な方々の積極的な市民活動参加ができないか？元気な方々が地元を明るくしよう。市民の声からの具体的な実現をスピーディーにはかるべき
- 子どものあいさつ。老人クラブで、小学生、中学生、市立病院の信号の所で交通安全をしています。2ヶ月おき月水金の3回、番が来てボランティアパトロールをしています。AEDの件ですが、商店の目の見える所に貼ってあればと思います。
- 川が多いけど水害のない街。その対策方法が環境にもやさしく、かつ景観的にも良い（グリーン的ないやし、オシャレな外観）、さらにそこに人が集まるような仕組み（カフェや公園、休憩スペース）ができるといいネ！子どもが安心して遊びに行ける街。地域連携の子育て、防犯カメラの設置ができるといいネ！
- ゴミの少ないきれいな都市。自然と開発が調和のとれた都市。川の活用。
- 泳ぐことのできるキレイな川、緑あふれる憩える町。犯罪が少なく安心して生活できる町。人と人とのつながりがあり、災害時に近助のできる町。
- 児童、生徒の登下校のときに地域の人が交差点等で見まわりをしている（継続）。水郷こしがや、川の危なさ（内水、洪水リスク）と豊かさ（緑と水の流れと憩いの場、交通、農業、自然）の両立がみんなで共有できる。
- 近くには大小たくさん公園がありますが、あまり利用者がいない。高齢者から子どもたちまで、楽しくくつろげて安心して遊べるまちになって欲しい。衛生的に集える公園。

自然を活かした
利まちづくり

現状を見直して
より良い越谷に

埼玉県一
のまち

- 「防災こしがや」の放送について。起こってしまったことを放送しても仕方ないのでは？ 迷い人の放送について→結果のフィードバックがない。環境を守る事と経済的発展のどちらを取るか？ 具体的には道路（バイパス）をつくることと自然が破壊されることの比較。「守る」というなら、例え便利になってもstopすべし。消防体制のうち、救急車の出動動向にかたよりがいいか？ 出動に対する有料化の検討は？（消防から代表は来ているのか？）
- 今後の事、街が良くなる（便利）→反面手抜き。ズサン→経費がかかる→税金が高くなる。ものごとバランス。計画するにあたりP（計画）D（実施）C（評価）A（改善）のサイクルが必要では。
- 近年、線状降水帯発生による被害が連続しております。また「水郷越谷」と言われるように、越谷市は水が強みであると同時に弱点にもなっております。市だけでは解決が難しいかも知れませんが、関連河川の補強等及び内水による被害を防ぐべく、インフラの整備（これは越谷市サイドの問題）に力を入れて欲しい。またソフト面では「向こう三軒両隣り」の機能が発揮できるようになったら良いと考えます。
- 環境汚染が少なく、健康を維持できる街。台風、竜巻等、災害に対処できる街。高齢者、幼児らが安心して街路を歩ける街。市税が他自治体に比べ負担が軽く、特殊サギが少ない街。救急活動体制が整い、患者を即、受け入れられる病院の体制（ルールを守る、防犯カメラ）。

- 越谷市に30年住んでいます。引っ越し時、田んぼが有りホタルも飛んで、環境が良かったです。現在は人口も増え、今後、越谷は文教環境、健康環境を大学、病院と前進させ、「QOL（クオリティ・オブ・ライフ）」を押し上げて、住民が埼玉県一の「健康都市」となって欲しい。それと越谷の特産品も欲しい。熊谷、深谷に間違えられるので。
- 環境については、散歩していて気持ちのいい自然が残る街。防災については自助の力が強く、他の都市に支援に行く余裕のある街。防犯については埼玉一、安全な街。交通安全については電車の事故がない街。消費生活については買い物で新しいコミュニティが生まれる街。消防については、通報から対応までが埼玉一の街です！

旗揚げアンケートで
ご意見をお聞きました



グループ討議の様子



10年後の越谷『5つの夢プロジェクト』を考えよう！

『環境、防災、防犯、交通安全、消費生活、消防』に関連した『越谷のここが問題』をポストイットに書き出した後、問題点を解決するような『5つの夢プロジェクト』をグループで話し合っていて考えていただきました。

1 グループ

1. 駅前サテライトオフィス 昼間人口↑
2. 近助する自治会支援NPO
3. あいさつ→安心→安全活動 大人もネ！
4. 高校生とか大学生の将来の越谷を考えた30年プロジェクトチームの創立

(具体的なご意見)

- ・近所づきあいをしたがらない人が増えてきている。自治会に加入しない、あいさつしない。
- ・あいさつ→安心→安全
- ・ボランティア、交通安全パトロール、皆さん協力人数が不足している。
- ・自治会、パトロール、ボランティアだけでは支えられない。
- ・市民一人一人が「私はこんな事を市にしています」という市民主体の町づくり。
- ・市役所の中に横断的なプロジェクトチーム(若手中心の)をつくる。
- ・若手中心の将来の姿を議論する、各部門の若手のプロジェクトチームを作成してほしい。
- ・若手の市役所の方々とお話できる場面をつくってほしい。
- ・越谷の若手職員の活躍できるチームをつくってほしい。
- ・30年未来プロジェクト。
- ・若い人達の活躍できる町。若者達が自治会、市民団体の長になるような町。
- ・高齢化して役員決めに苦慮and活動が十分に出来ないことを市やNPOで対応する枠組みづくり。

防災▽

- ・問題：防災備蓄。倉庫の整備がされても、緊急時に利用出来る状況(運用体制)になっていない。
- ・避難はすぐに使えると思っている人が多い。しかしすぐには使えない。
- ・越谷は地震の震度が何か、知る事が出来ない。
- ・災害時に全市のドローン画像公開。
- ・AEDは店頭の入口に貼って置いて下さればと思います。

環境▽

- ・問題：温室効果ガス削減。本日の「情報提供資料(P6)」に計画値(改定値)は示されているが、状況(実績値)が示されていない。
- ・昼夜人口バランス。テレワーク、サテライトオフィスの整備。企業は働き方改革の方策として実施、適用。

<1グループの発表から>

1. 東武鉄道がやっているサテライトオフィスを新越谷駅等の駅前で行う。昼間の人口が増えるので防災に役立ち、安心、安全なまちづくりになると考えている。
2. 自治会も高齢化が進んでいるので、ボランティア、市、NPOで対応するような形にしたいと思う。
3. 交通安全のパトロールをしているが挨拶をしない子どもが多い。挨拶をすることで安心して安全活動も出来る。大人も挨拶をし、災害時に助け合うことが必要ではないかと思う。
4. いろんなテーマがあるが、これを具体的にやっていくのは若い人達である。特に高校生、大学生、20才ぐらいの人達で、将来の越谷を語るプロジェクトチームをなんとしても作りたいと思う。



2 グループ

1. 水と共に生きる ~水の都"こしがや"として、水とうまく付き合っていく~
2. 自助と共助の自覚と認識 ~向こう三軒両隣から始めよう~
3. 避難所の充実 ~学校体育館の整備とスポーツ施設 越谷アルファーズ応援プロジェクト~
4. 稼げる「森」 ~人々が集まり、様々な活用でガッツリ!!~
5. 本気でSDGs ~やるならトコトン皆で取り組もう~

(具体的なご意見)

- ・避難所がない。
- ・避難所の充実 (冷暖房)
- ・避難所が分かりづらい。

・調整区域の活用法に問題。

- ・リサイクルが徹底されていない。
- ・ゴミの減量。

- ・SDGsの推進
- ・SDGsの浸透

- ・水害に弱い。
- ・放水路や地下水路等。
- ・堤防、河川整備。
- ・ゲリラ豪雨対策。
- ・ポンプ増設
- ・U字側溝整備
- ・ちょっとした雨で側溝などがすぐあふれる。
- ・ゲリラ豪雨で駅や宅地が浸水する。

- ・道路がせまい。
- ・道がガタガタ
- ・交通安全教育

- ・自助共助の自覚とあたり前の認識。
- ・防犯組織の充実、自助。
- ・防災訓練の参加率が低い。
- ・消防団のなり手。
- ・市民の危機意識が低い。

- ・カラス、ムクドリ等、有害鳥獣出没。
- ・緑化は後退していると思う。
- ・自然環境の減少
- ・気温が高い。

<2グループの発表から>

1. 一級河川が5本も流れている越谷でありながら、ほぼフラットな地形で、ゲリラ豪雨等の災害時に逃げ場がなくなる。水の都"こしがや"として水とうまく付き合っていくことをテーマに挙げた。ポンプの増設などいろいろ対策はあるが、まずは水と仲良くしようということ。
2. 公助にばかり頼らずやはり自分達で、向こう三軒両隣の精神から始めていこうということ。
3. 学校の体育館だけではなく、いろんなスポーツ施設をたくさん造れば良いのではないかと。そして越谷アルファーズもそこで一緒に応援する。今、越谷アルファーズの練習場は都内にあるが、B2リーグに昇格したということもあるので越谷で応援できるようにしたい。いろんな施設も造りながら避難所として活用できれば一石二鳥である。
4. 木を植え、人々が集まってキャンプができたり自然と触れ合ったり、そこにお金を落としてもらえるような森をつくる。水だけではなく、もっと自然が活かされた越谷になるのではないかと。思う。
5. SDGsは17項目、広く万遍なく並んでいるが、どれを一所懸命やるのかが見えない。「本気でこれをやっていきましょう」というものを一つずつ、やるならトコトン皆で取り組もうということに挙げた。



3 グループ

1. 皆で防犯意識を高める。個、自治会、サークル等から「公」との連携を深める。
2. 防災訓練。「見る」「聞く」から体験へ。
3. ゲーム感覚できれいな街づくり（ゴミ拾いなど）
4. 防災無線放送の改善（聞きづらい、結果のフィードバック）
5. 避難場所の整備と再認識（どこに逃げるか？高層建物）

（具体的なご意見）

1. 防犯

- ・人を頼らず、まず自分が動く。
- ・人と人がつながって助け合いをする。オシャベリサロン、サークル単位etc.
- ・自治会同士の交流会。
- ・学校警察の新設。
- ・学校警備の強化。
- ・管理事務所だけ（マンション）だと人との交流は難しいので、住民主導にする。
- ・「公」の横連携を深めて欲しい。市／消防／警察／市民

2. 防災訓練

- ・外国人も含めた防災訓練、消防訓練。
- ・見て聞いて学ぶも大切だが、体験が身につくので、訓練方法の見直しが必要。
- ・消防体制のうち、救急車の出動動向を分析し、利用に片寄りがないか？基準以上の要請は有料化する検討をして欲しい。

3. 環境（ゴミ）

- ・遊び感覚のゴミ拾い。
- ・親子でゴミ拾いゲーム。
- ・「環境を守ること」というスローガンだけ。具体的には「桜並木を切るな」を主張したい。
- ・隣近所を知るゲーム、集まりを。企画につながる。
- ・市道の穴や段差が地区によって多い。
- ・水害対策として、川底やどぶさらいを実施する。住民の参加も募る（自助、共助の実現）。

4. 防災無線

- ・言いつ放しの「防災こしがや」。起こってしまったことを言っても仕方ない（オレオレサギが発生）。迷い人が見つかったのか、事故でケガ、亡くなったのか（フィードバックして欲しい）。
- ・防災無線での発信内容。変質者出没。
- ・オレオレサギの啓蒙活動。
- ・防災無線流れていても聞き取りづらい。

5. 防災

- ・公園の利用方法の見直し。
- ・避難場所は4階建て以上の場所にする。

<3グループの発表から>

1. 個人、自治会単位だけではなくてサークル、いろいろな集まりの中で、最後は公の場所とつながって深めていく。まずはみんなで意識を高めていく。
2. 「見る」「聞く」だけではおしゃべりをしているだけで訓練が終わってしまうので、体験型にする。実践しないとなかなか身につかないのではないかな。
3. 自治会に入っていないマンションは、自治会の大掃除には参加せず、その周囲にゴミがあるという話が出た。誰かを当てにするのではなく、ゲーム感覚でゴミ拾いをするすることで、きれいなまちづくりができるのではないかな。ゴミ拾いの対抗戦をやっている町もある。
4. 防災無線が聞きとりにくいし、行方不明情報が流れても、見つかったということが伝わらない。またメールでは不審者情報が来るが無線ではその情報が流れない。メールをしている人ばかりではないので、防災無線でもきちんと情報を流してほしい。
5. これまでのように体育館や公園に避難という時代ではなく、雨量が多ければ4階以上の建物に避難することも考えなくてはいけない。地域にある4階以上の建物をみんなで確認しながら、そことの連携も考えていった方が良いのではないかな。

4 グループ

1. 人づくり「新しい形の向こう三軒両隣り」
2. 防犯、防災は自助→共助の精神から
3. 増水対策を満たした土地開発
4. 自主的活動。明るい魅力ある都市空間

(具体的なお意見)

人づくり

- ・ 本当の街造り。本当の幸せとはものごとバランス。
- ・ 環境と人間の関わり方。環境とは人がつくるもの。
- ・ 気ままなルールが自分勝手な要求を生む。
- ・ 基本は都市のコンパクト化。新しいコミュニティづくりが環境を良くする。
- ・ 40年前を振り返って見よ！
- ・ 現代にマッチした向こう三軒両隣り精神。

緑・水、衛生

- ・ 河川が不衛生。
- ・ 公園が不衛生（蚊、草）。
- ・ 魅力ある公園緑地の活用。
- ・ 公園の管理を誰がするのか。以前は近隣の人が率先してやってくれていたが高齢に。
- ・ 今朝の朝日新聞で、市が環境問題にとりくんだことが掲載。ペットボトルなし。
- ・ 以前行っていた自治会による消毒散布は復活するのか。

防犯

- ・ 不審者が多くなっている。
- ・ 振り込めサギで未だにだまされる人がいる。
- ・ 防犯パトロールをより充実させたい。
- ・ 通学路で危険な箇所がある。
- ・ 空き家、安全、防災の見直し。

防災

- ・ 自主防災組織もない自治会がある。
- ・ 自主防災組織は形ばかりになっていないか。
- ・ 災害に強い街。安心、安全、自助、共助、公助。
- ・ 市民1人1人が自分が行動すべき内容を把握すること。
- ・ 災害時の要支援対策施策の見直し。
- ・ 災害時避難所の受入れ意識不足？

水害

- ・ 洪水調節機能は充たされているのか。
- ・ 増水対策を充たした土地開発。

<4グループの発表から>

ポストイットの意見はある程度出たが、プロジェクトにまとめるまでにすごく時間がかかった。プロジェクトも本当に自分達が思っていることを表現しているかどうか、非常に難しい。他にも公園や緑地の問題もあったがまとめきれなかった。

1. 人づくりについて、新しいやり方でやらないと、昔のままの向こう三軒両隣ではもう成り立たない。新しい形で教育をきちんとしないと成立しないと思う。
2. 他の班でもあったが、基本はやはり自分達が積極的にやらなければいけない。人づくりが基本になっている。
3. 増水対策を満たした土地開発ということだが、実はあまり理解していない。
4. 基本は市民が積極的に活動していくこと。そして明るいまち空間をつくっていく。



3グループ



4グループ



5グループ

5 グループ

1. 安全・安心なみちづくり（健康、買い物、歩きやすい）
楽しく安心してハイカイできる道にしておこう
2. 地域特性を活かしたまちづくり（緑の保全、安心な川）
3. 新時代の防災キャンプ
4. 子どもが安心して遊べる公園 わくわくするような

以上を、若い人と共に
できるような情報発信

（具体的なご意見）

1. 消費生活

- ・越谷の特産品をPR（いちごでも）。深谷ねぎに負けない越谷ねぎ。
- ・宿場通りの一方通行化。
- ・交通安全。安心して歩いたり、自転車に乗れる道。旧国道は危険いっぱい。見直し、対策を！
- ・年を重ねても歩いて買い物に行けることは、身体を動かし、店で人々と出会い話し…健康寿命がより長くなる。ということは国民保健の出費がおさえられる…トータル予算の視点で考えてみよう。
- ・全国的に、小売商店はほぼ（やや）消えつつあり…。スーパーが近くにないエリアは買い物難民になっている。
- ・地域の人の活動内容が、アパート暮らしの人に伝わらない。

2. 環境

- ・屋敷林の保存ができるように補助予算をマジメに具体化して！
- ・川、池などでの水難訓練の実施。
- ・緑の保全と維持管理の両立。
- ・川をもっと活かそう。川からの道路散水→夏の高湿対策のひとつ→いろいろ市民の知恵を出してみよう…
- ・市職員の体験、知識は市の財産。担当課が代わっても横のトータル計画で活かせるシステムを。
- ・コンパクトシティ…って具体的にどうすれば出来るの？

3. 防災、消防

- ・災害時に誰を頼るか。
- ・公園など、避難場所での夜間訓練活動。キャンプ、アウトドアショップの活用。
- ・真夏の大地震…避難所に発電装置を！
- ・捨てたばこ、歩きたばこ、歩行中の禁止。
- ・以前住んでいたところで避難困難者と助産登録をした。その時におぶって助けるとかではなく、地震が収まってから安否確認に行く。
- ・以前住んでいた町で市内一斉防災避難をした。各自、家から近い避難所に集まって、ブロック塀とか、その道の危ないところを書き出して改善に対応した。
- ・以前住んでいた町で自治会で避難所マニュアルを作った。作る中で防災意識が高まっていった。
- ・災害時の避難場所の周知。障がい者、寝たきり者の自治会把握と救出方法。
- ・住居エリアの道路が狭く、防災上不安。防災訓練はこの場所で。
- ・避難所、避難場所の設備。物資の準備状況が分からない。
- ・川、池に救助備品、設備等がない。
- ・内水、浸水のリスク。

4. 防犯

- ・ハイカイ、チカン、発生が多い!?
- ・ひったくり等の犯罪が多いので、街灯照明の設置を。
- ・ごみのポイ捨て。

<5グループの発表から>

1. 世田谷や杉並のように一方通行の道路等を考えるなど、歩きやすい道をつくりたい。
2. 水のまちとしての安全は確保されているのか。例えばレイクタウンの周りには救助するための備品がなく、違和感がある。
3. 被災して苦労するのは夜だと聞くので、防災訓練は夜にすべきだと思う。キャンプ道具を使い、テントの作り方等を覚えてはどうか。
4. 公園で子ども達が遊べるような仕組みを作るべき。そうしていかないと、まちとのつながりが出来ないと思うし、公園をきっかけに子ども達、若い人達が地域に参加してくるようになると思う。まちづくりは女性や子どもを活用しないと出来ない。若い人と共に情報発信していくことが必要だと思う。安心だけでなく、わくわくするような遊び場を一緒に考えたい。

6 グループ

1. ごみがなく、清潔な街
2. 水害に強く、自助が機能している街
3. 弱者（高齢者、幼児など）が安心して歩ける街
4. 特殊詐欺ゼロの街
5. 救急患者をすぐに受入れる医療体制の整った街



（具体的なご意見）

- ・禁じられているごみの焼却をしている人がまだ多い。
- ・ゴミ出しルールを守れない人がいる。
- ・プラスチックからの完全リサイクルシステムがない。
- ・街角の生活ゴミがきれいに回収されている。
- ・ゴミネットをちゃんと掛けない人がいる。
- ・せんげん台東口のムクドリ対策。
- ・人口の急増（レイクタウン）に対応できていない。
- ・防犯、交通、学校、病院等、施設などなど。なのになぜ用地変更をくり返すのか…？
- ・川や貯水池のまわりに柵がなく危険。
- ・とにかく水害に弱い（その割に河川対策の強化？）。
- ・水に囲まれた環境が悪い方向に走ることがある。元荒川のしゅんせつ（浚渫）など、河川行政を充実。
- ・避難所（体育館）に冷暖房完備していない。
- ・新しく越谷市に転入してきた人たちとの交流の場が必要（地域コミュニティ、つながりの活性化）。
- ・高齢化が進み、日中の若者が対応できない（日中に被災した場合）。
- ・行政と個人が各々の責任対応を遂行する。
- ・住んで良かった！これからも住みたい街。
- ・監視カメラが街中にない。
- ・安全に歩ける場所が少ない。
- ・道が暗く、見通しが悪いところがある。
- ・道幅が狭い。
- ・歩道と車道が分かれていない道が多い。
- ・登下校時、交通指導員が確保されない。
- ・高齢者、幼児ら、弱者が安心して歩ける道路を整備してある。
- ・川を渡る時の渋滞。
- ・踏切が開かない。陸橋が混む。
- ・レイクタウンができたことによる交通量の増加。
- ・騒音、排気ガス、振動が少ない環境を達成する。
- ・患者を待機時間が短く搬入できる、ホスピタルの整備。
- ・分署の関係で近くの消防署が違う区分。
- ・SDGs17ゴールの1つでも課題達成してほしい。
ex. 平和と公正をすべての人に
- ・特殊詐欺がゼロの街。
- ・空き家が増え、放火や空き巣のリスクが上がっている。

<6グループの発表から>

今日のテーマはSDGsにある17のゴール全てを網羅しているのではないかと思います。一つでも二つでも越谷市として達成に向けて行動を起こすことが必要。また住んで良かった、これからも住み続けたい越谷市になって欲しい。

1. 高齢化が進むとゴミ出しが大変になり、ゴミの回収等に支障を来しているケースもある。
2. 水害等に対しては自助努力が大切だと思う。少なくとも1～2週間は生き延びられる状態を努力してつくっていくべきではないか。
3. どこを歩いても安心できる、段差が少ない街であって欲しい。
4. 現在、特殊詐欺の件数は減ったが、1件当たりの被害額が大きくなっている状況である。
5. 現在、救急隊が頑張っていて活躍しているので、次は受け入れ先の充実を図っていただきたい。

「感想カード」

今日、参加して感じたことなど、自由に感想カードに記入していただきました

少し難しいテーマだった

- 今回は少し難しいテーマだったと感じていましたが、意外とたくさん意見交換ができて良かったと思います。改めて越谷アルファーズを応援するべきであると思いました。体育館やスポーツ施設の充実は、防災にも効果があり一石二鳥だと!!
- ワークショップの際、1つの課題をマトメにする時に、まとめる為に時間的ロス。正しい自分達の思いを表現するのが難しい。
- 「まとめ」の難しさを痛感した。「まとめ」を通してコミュニティが図れる。
- 今日のテーマも全てが協働につながっていると思います。何かをやるにしても、どうしたら良いか、先に進めない。そんな時に、行政がきっかけを作り、市民が活動して行く。お互いの立場を尊重した行動がまちづくりに生かされるのではと思います。今日はとてもむずかしかったです。

市民ができることをしていきたい

- 今日のテーマでは、地味でコツコツ継続していくべきテーマでしたが、楽しくワクワクして稼げるPJ（プロジェクト）にならないかと議論できた事は良かったです。施設等のハードと人の意識のソフト面の両方のアプローチが必要と思います。防災のコンテストやスポーツとのタイアップなどのイベントとからませ、コミュニティ強化を図っていききたいと思います。
- テーマが広くて、もう少し別の方がよかったかと思います。越谷市を考えている人たちから、いろいろな問題意識を共有しました。今回の提案がすべてできることでもないと思いますが、市でできること、又、これからは市民でできることは市民（民間）が解決に向けて行動していけたらいいかと思います。こういう話し合いが普段から（5年に1度ではなく）、市民が声をあげ、動く街であつたらいいかと思いました。
- あいさつ、安心、安全。越谷のテーマにしたいと思います。
- 小さい気づきを発信して行くことにより、小さな動きが起こり、そこから少しずつの進歩を生みます。この会で出たことが街づくり、人づくり、災害、防災、公園の利用方法など、市民自身が加わり進んで行くことを願います。
- 表現のしかたはそれぞれでも、言いたい事はほぼ共通したものだったと思います。防災・防犯に関しては、市民夫々が自分の事として真剣に取り組む必要があるし、共助の仕組み作りも必要。我々市民が取組めるのはソフト面ですが、ハード面は市ばかりでなく県、国への強力な働きかけが必要と思います。
- まずは上手に発表できず申し訳ありませんでした。これを機に、心掛けてみなさんから教えて頂きたくお願い申し上げます。越谷の人口はまだまだ多くなる事で、若い人達、特に仕事されている方々も、多くの会合やチャンスプロモートすべきと思えます。



実行に移していきたい

- 2回、3回、4回とつづけて参加。人数は今回少なくて残念でしたが、みんな良くお話をするようになったと思います。この流れをきらすことなく、各地区の自治会などに同じような取り組みをしていきたい。特に出羽、大相模、東町、レイクタウン、比較的積極的な自治会活動の「モデルケース」をつくる事をおすすめします。もうそろそろ、かけ声で終わる事なく、成功事例をつくりましょう。人間、成功体験があるとまた行動しますから!! かけ声だけ、なにもやらない越谷を卒業しましょう!!
- 本日も楽しく有意義な時間をありがとうございました。皆さま、ご自身の経験や知識をいかした独創的なアイデアをお持ちで毎度、夢が広がります。ここでアイデアを出しただけにとどまらず、是非、都市計画づくりに反映させていただきたいです。なかなかこのような話を色々な世代、地域の方とじっくり話せる機会はないので、託児で子どもを預かっていただいて話し合いに参加できることに感謝しております。本日も、どうもありがとうございました。
- SDGs、17ゴールに向けて、少なくともスタート体制作りを含めしていること。プレゼンで説明しました。住んで良かった!これからも住みたい街を100%完遂しましょう!
- 本日のテーマは数が多すぎて、とても難しかったです。どの都市にも言える課題が沢山出たのかと思いますが、大切なのは実行することではないでしょうか。
- 発表時の「稼げる森」、「本気でSDGs」、「水と共に生きる水郷越谷」、わかりやすいと感じました。わかものをまきこめる情報発信…どうしたらいいの…。市職員の方々の体験、知識は市の財産…担当課が代わっても、横のネットワークが活かせるようなシステムを。具体的にどうしたらできるか、政策課の方の一案を次回ききたい!たてわり行政でなく、今回のテーマは全てつながってるし…ネ。

若手職員の感想

- 市民の皆さんが考えている取組や課題を聞いて勉強になりました。市として認識していることもあれば、それ以上の解決策や新たな取組をも提案していることを、大切にすべきと思いました。テーマが防災もあったためか、“自助”“共助”が大切、“公助”に頼りすぎない!という声をきけたのは良かったと思いつつ、“公”が果たすべき役割を適切に実行すべきだとの自戒の念を改めて感じ、今後活かしていきたいと思いました。
- ワークショップを通じて、職員とは違った市民の方の様々な意見を聞くことができました。今後の職務にあたる上での意見として、参考にしていきたいと思います。
- 普段の業務では何うことのできない様々なご意見を聞くことができ、非常に有意義な時間でした。今回、いただいた意見を踏まえながら、今後の業務に取組んでいきたいと思えます。
- 色々な世代、色々な分野の皆様が思う越谷の問題を聞くことができ、自分が認識をしていなかった事が多かったので、とても勉強になりました。
- 市民の方の率直な意見を聞くことができ、また、皆様が様々な発想で街の将来について考えていることが分かり、とても有意義な時間になりました。
- 今回のテーマは生活に直結するため、多くの“問題点”や前向きな“解決策”が出てきました。全ての人にとって安心して生活することのできる越谷市にできるよう、『5つのプロジェクト』が夢で終わらないように取り組んでいきたいと思えます。



ワークショップについて

- 第4回目ともなると、内容が変わりばえない。出席者もだんだん少なくなっていくのではないか？第1回のニュース、5ページに「多様化を受け入れるダイバー・シティ」と書かれているが、おかしいと思う。英語を使うのは良いが、「ダイバー・シティ」を「多様化した都市」という意味で使っていないか？
- グループに入って頂いた市職員さんにうまくリードしてもらったことで、プロジェクト提案をまとめることができました。緊急時に市職員が防災倉庫を開けてくれることを知りませんでした。「タイムライン」が作成済なら、今後の懇談会で配布願います。

- たいへん勉強になりました。
- おおむね皆さん、同じような問題を感じているように思う。やはり調整区域と市街化区域では認識に大きな差があると感じた。「SDGs」を取り上げてくれてよかった。
- 初参加で、本会のねらいと住民意識の吸い上げ、この様な形で取上げられるのは幸堪に思います。これからの10年～50年を考えて、ビジョンを取りまとめてもらいたい。又、色々な人の意見、考え方が正に多様であることがうれしく思いました。第5次計画の取りまとめに期待します。

発行：越谷市 市長公室 政策課
都市整備部 都市計画課

TEL：048-963-9112/FAX：048-965-6433
TEL：048-963-9221/FAX：048-965-0948

【参考】

持続可能な開発目標（SDGs）について

※SDGs（エス・ディー・ジーズ）はSustainable Development Goalsの略

■2030アジェンダの採択

- ・2015年9月の国連総会において「持続可能な開発のための2030アジェンダ」（以下「2030アジェンダ」という。）が採択された。

■持続可能な開発目標（SDGs）の設定

- ・2030アジェンダは先進国と開発途上国が共に取り組むべき国際社会全体の普遍的な目標として採択され、その中に「持続可能な開発目標(SDGs)」として、17のゴールと169のターゲットが設定されている。

ここでは地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。

SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

～SDGsの17のゴール～

- 1 貧困をなくそう
- 2 飢餓をゼロに
- 3 人々に保健と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 5 ジェンダー平等を実現しよう
- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 7 エネルギーをみんなに、そしてクリーンに
- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 10 人や国の不平等をなくそう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさを守ろう
- 16 平和と公正をすべての人に
- 17 パートナリシップで目標を達成しよう